



Nagasaki City Dinosaur Museum

長崎市恐竜博物館

修学旅行 ガイドブック



- 目次 -

館内のご案内

展示内容と学習効果

Active Learning

SDGs の観点から

見学コース

ご利用案内

画像提供：長崎市教育委員会

Illustrator：Kayomi Tsukimoto



館内のご案内

館内は有料の展示室と、化石を分析している様子を見学できるオープンラボやミュージアムショップがある無料ゾーンの2つに分かれています。広場から館内まですべてバリアフリーです。

- 1 長崎の大地
- 2 生命の記録
- 3 恐竜の時代
- 4 現代の恐竜たち
- 5 燃える石の時代
- 6 体験エリア
- 7 オープンラボ(観覧無料)



Tips

シーボルトが繋いだかけはし



長崎と姉妹都市である蘭ライデン市。同市にあるナチュラリス生物多様性センターと長崎市は協力関係を強化する旨の覚書を締結しました。その一環として、世界最大級のティラノサウルスの標本であるトリックスのレプリカが世界で唯一長崎で展示されることになりました。

展示内容と学習効果

常設展示室では県内で発掘された化石から太古の長崎の様子を知ることが出来るほか、海を望む一面の窓から軍艦島を見ることで、化石燃料に支えられている今の文明を地球の歴史という大きな観点から考えられる構成となっています。

1

長崎の大地

長崎市の大地を構成する岩石や化石、地層の概要を紹介するとともに、示相化石や示準化石の解説、年代測定の方法、ウェゲナーの大陸移動説からプレートテクトニクス理論への発展についても解説しています。



POINT

夫婦岩を形作っている変成岩、化石や石炭を産出する堆積岩、眼鏡橋で使われている火成岩などを通して、身の回り回りの大地のつくりやでき方への興味関心を高める効果があります。

小学校 6 年

「土地のつくりと変化」

中学校第 2 分野

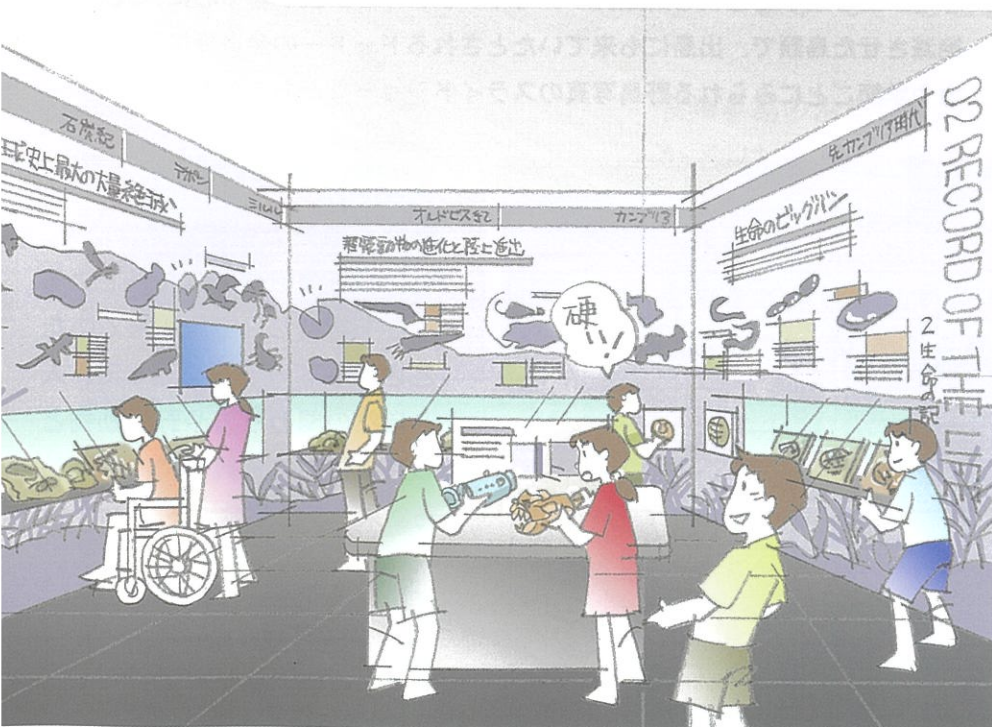
「土地の成り立ちと変化」

「生命の連続性」

2

生命の記録

先カンブリア時代から古生代までの化石や岩石、ハンズオン展示を通して、目や顎、四肢の獲得など、生物進化の大きな流れを紹介しています。また、生物の繁栄や衰退、古生代に起こった出来事等も解説しています。



POINT

化石を観察したり、ハンズオン展示を動かしたりしながら、人と他の生物の体のつくりを学習することができます。また、古生代に起こった出来事を知ることで、生物と環境の関係性に対する興味関心を高める効果があります。

小学校 4 年

「人の体のつくりと運動」

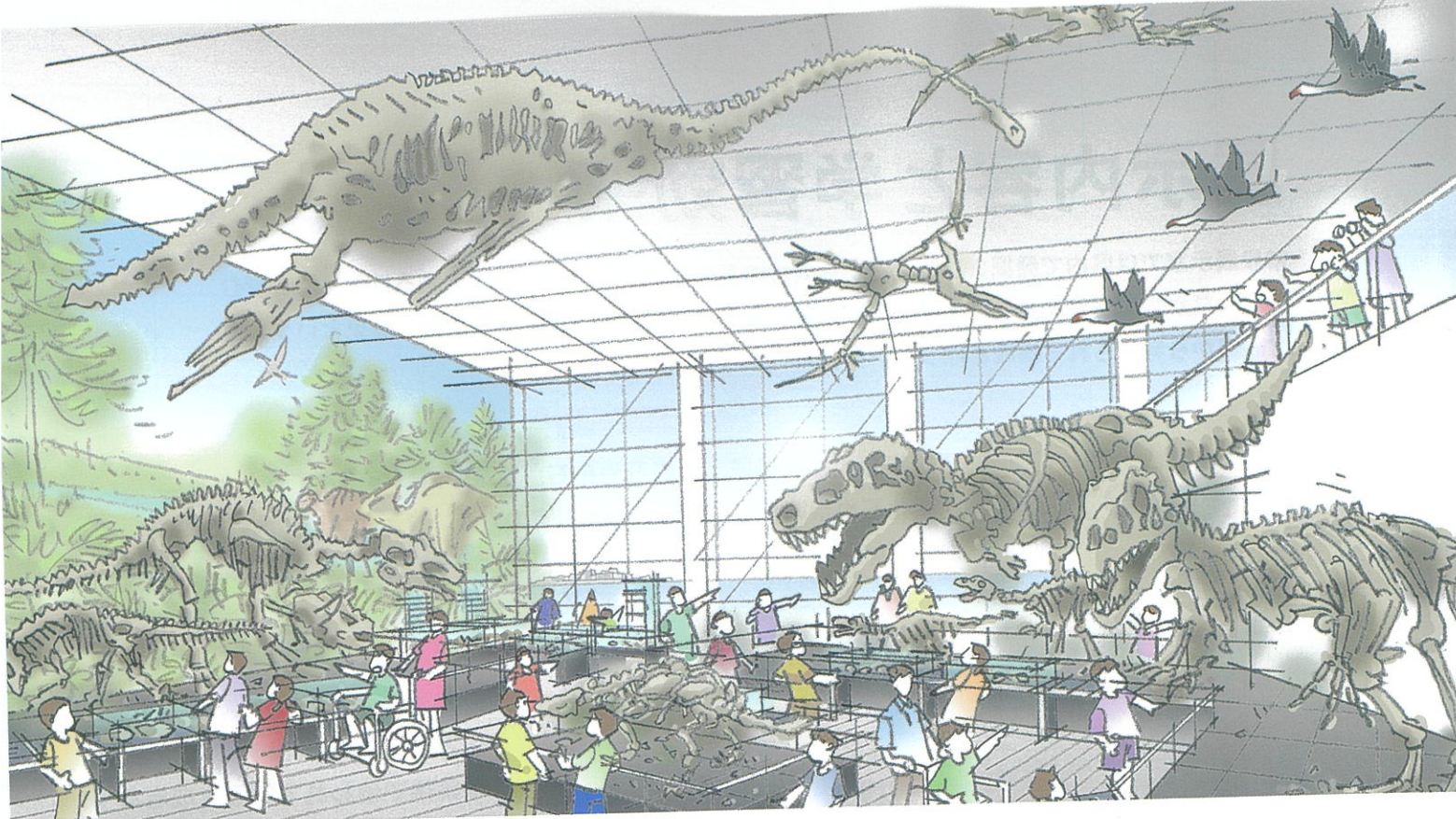
小学校 6 年

「生物と環境」

中学校第 2 分野

「いろいろな生物とその共通点」

「生命の連続性」



3

恐竜の時代

長崎市の恐竜化石や世界最大級のティラノサウルス・レックスの全身骨格レプリカなどが展示されており、本物の化石に触ったり、恐竜の巨大化やティラノサウルスの小さな手の謎について考えるハンズオン展示もあります。

POINT

本物の化石や迫力のある骨格レプリカなどを通して、中生代の生物への興味関心を高める効果があります。また、2階から双眼鏡で観察したり、体験コーナーで化石のデッサンを描いたりすることで、標本を観察する能力が養われます。

- 小学校 4年 「人の体のつくりと運動」
- 小学校 6年 「人の体のつくりと働き」「生物と環境」
- 中学校第2分野 「いろいろな生物とその共通点」「生命の連続性」

4

現代の恐竜たち

恐竜の生き残りと言われる鳥類についてのグラフィック展示を中心に、人が絶滅させた鳥類で、出島にも来ていたとされるドーダーの全身骨格レプリカや季節ごとにみられる野鳥写真のスライドショーなどもあります。

POINT

恐竜が過去の生き物ではなく、現在も身の回りに存在していることを学習し、出島に来ていたとされるドーダーを通して、人と自然の関わり方や野生動物との共存に対する興味関心を高める効果があります。

- 小学校 4年 「季節と生物」
- 中学校第1分野 「科学技術と人間」



5

燃える石の時代

端島や高島、伊王島等の炭鉱で栄えた島々を見ながら、そこで採掘されていた石炭について紹介している展示に加え、新生代に放散した哺乳類の全身骨格レプリカや絶滅が危惧されている哺乳類のグラフィック展示などもあります。

POINT

石炭の働き方や炭鉱について学習することで、エネルギー資源が有限であることが学べます。また、新生代の哺乳類の進化や絶滅が危惧されている種類について学習することで、人と自然の関わり方や野生動物との共存に対する興味関心を高める効果があります。

小学校 6 年
「生物と環境」

中学校第 1 分野
「科学技術と人間」

中学校第 2 分野
「いろいろな生物とその共通点」
「生命の連続性」

Tips

長崎で発掘された化石

長崎半島の沿岸部に広がる白亜紀後期の地層「三ツ瀬層」からは多種多様な化石が発掘されています。中でも 10m 級のティラノサウルス科の歯の化石は国内初の発見でした。他にも国内最大級のハドロサウルス類の肩甲骨も発見されており、古代の長崎には大型の恐竜が闊歩していたと考えられています。



上：ティラノサウルス科の歯
左：翼竜類の全身骨格
右：ハドロサウルス類の大腿骨

化石画像提供：
長崎市教育委員会・
福井県立恐竜博物館

ACTIVE LEARNING

6

体験エリア

体験エリアでは更新されていくテーマに沿って標本を間近で観察しながらものづくりが楽しめます。観察してつくる過程のなかで湧いた疑問を主体的に解決してアウトプットする力を養えます。

エリア入り口で待ち受けているティラノサウルスのロボットは最新の研究に基づいて見た目や動きを再現したもので、息遣いすら感じられる展示となっています。

7

オープンラボ

オープン・ラボを通して、野外で発掘されてきた岩石や化石が、どのような過程を経て論文化されたり、展示物になったりするのかを見学できる場所です。研究者が行っている作業やそこで使用されている研究機器を通して、科学への興味関心を高める効果があります。

パース画 画像提供：長崎市教育委員

クリーニング体験 1人5分程度（要相談）

化石のクリーニング体験を通して、研究者が使用している道具を使い、化石に触れることで、本物の化石発掘体験が行えます。このことにより、科学への興味関心を高めるだけでなく、道端の石ころが地域の財産であることを生徒に気づかせ、地域や郷土への愛着が深まるきっかけを創出します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地球の過去を学び
SDGs の観点から今の時代を考える

軍艦島と化石

地層が私たちに教えてくれる地球の歴史。
遠い未来で私たちの時代はどのように見えているのでしょうか。

化石燃料に支えられた産業革命遺産である軍艦島と、石炭が出来た時代の生き物たちを同時に見ることが出来る展示は、現代の私たちがどんな時代に生きていて何をすべきかを考えるきっかけとなるはずです。

生態系の多様性を守るべく、博物館をはじめ恐竜パーク全体で保全活動に取り組んでまいります。

見学コース

常設展示の見学 45 分とオープンラボ 15 分及び
体験学習 30 分も含めた約 90 分のコースを選べます

常設展示 45 分

オープンラボ 15 分

体験学習 30 分

- 常設展示やオープンラボは学芸員・学習指導員等によるガイド付きでご案内いたします。
- 化石のクリーニング体験をはじめ学習内容に応じた 30 分程度の体験学習も応相談でご用意いたします。



Nagasaki Nomozaki
 Dinosaur Park



恐竜博物館入場料 (常設展示)

一般 個人 500 円 団体 400 円
 中学生以下 個人 200 円 団体 160 円

* 団体 = 15 人以上 3 歳未満無料

恐竜博物館+軍艦島資料館

一般 500 円
 中学生以下 240 円

長崎市野母町 568-1

博物館事務所 TEL 095-898-8000

画像提供：長崎市教育委員会

